

社会福祉協議会からのお知らせ

ひまわりボランティア祭への ご来場ありがとうございました



令和5年11月3日に、毎年恒例のボランティア祭が開催されました。当日は、たくさんの方で賑わいました。飲食ブースでは、手話を使って注文するシステムを導入。来場者は「ビールの手話は覚えたよ!」と笑顔を見せてくれました。

福来の里で芋掘りをしました

福来畑で、毎年さつまいもを作っています。令和5年は、紅あずまの苗を5月に植えて、10月に収穫しました。ご覧のとおり、大収穫でした。さつまいもは、「焼き芋」や「ふかし芋」などにして食べました。大変美味しかったです。



おそば配りをしました



75歳以上のおひとり暮らしの方へ、年末におそばを配食しました。この活動は、赤い羽根共同募金の助成を受けて、民生児童委員さんが安否確認を兼ねて行なっている事業です。今回は、約90食をお届けしました。

諏訪苑でお餅をつきました

12月28日に特別養護老人ホーム諏訪苑で、年末恒例の餅つき大会が行われました。入所者の拍手や、「よいしょ!」という掛け声に、餅をついている会長たちも大張り切りでした。令和6年も良い年になりそうです。



祝 しまね県民福祉大会 表彰



令和5年10月14日に開催されたしまね県民福祉大会において、平尾郁子さんが、島根県民児童委員協議会会長表彰（在任期間9年以上）、片桐憲一さん・和美さんが、島根県社会福祉協議会会長感謝状（ボランティア功績）を授与されました。

管理栄養士の 出張! ひまわり食堂

厳しい寒さが続き、手足の冷えに悩んでいる人も多いのではないのでしょうか。冬は外からも内からも体を温めることが大切です。冬に旬を迎える食べ物は、体を温めてくれる働きがあります。ネギや大根、白菜など鍋に使う食材が代表です。また、黒い食べ物（玄米・黒豆・黒胡麻・椎茸・ごぼうなど）も体を温めて血行を良くしてくれます。毎日の食事に取り入れて、冷えに負けずに過ごしましょう。



キッズルーム 再開



コロナ感染対策のため、開放時間を短縮しておりましたが、11月より開放時間を変更いたします。

月曜日～日曜日（祝日も含む）
午前9時～午後5時まで
※各自で感染対策をしてご利用ください

麻雀の日ははじめました



男性の居場所作りとして、ひまわりで麻雀ができるようになりました。誰でも参加できます。もちろんお金は賭けません。電動雀卓が欲しいなあ・・・。

毎週木曜日
午後1時30分ごろ～午後4時まで

教育支援資金 貸付のご案内

島根県にお住まいの低所得世帯に
就学費用を貸付ける制度です

無利子

返済期間
は
20年
以内

※申し込みには基準があります。
詳しくは海士町社会福祉協議会
または、民生児童委員までご相談ください。

令和6年能登半島地震 災害義援金募集します

期間 令和6年1月5日（金）から
令和6年3月29日（金）まで

詳しくは海士町社会福祉協議会まで

編集後記

合併して初めての広報を発行することができました。新しいあま社協ニュースは、色々な意味を持った三角をテーマにデザインしております。また、誌面は新聞のようなタブロイド型。広げた瞬間に楽しい情報が溢れる広報誌を目指しました。合併前の各法人の広報（コーナー）は、本誌とは別に不定期で発行を予定しておりますので、そちらも楽しみにしてください。次号は春号で、暖かい情報をお届けします。（一）



発行・編集

社会福祉法人 海士町社会福祉協議会

〒634-0403 島根県隠岐郡海士町大字海士3969番地1
電話 08514-2-0010 fax 08514-2-0600
mail ama-syakayo@snow.ocn.ne.jp

さくらの家▷電話 08514-2-1502
あまの里▷電話 08514-2-0002
ひまわり▷電話 08514-2-0010

諏訪苑▷電話 08514-2-1600
福来の里▷電話 08514-2-0002

あま 社協ニュース



2024年
新春号

特集「法人合併で変わったこと・変わらないもの」



目次

▷ あいさつ

▷ 本音の会長室

▷ 海士の福祉みらい会議

▷ 令和5年 福祉人材来島ツアー



公式サイト



Instagram



Facebook

合併で変わったもの、変わらないもの

海士町社会福祉協議会は、令和5年4月1日にあま福祉会、だんだんと合併しました。住民の方々から、「何が変わったの？」とよく聞かれます。合併による福祉課題解消の期待も大きいと思っております。合併から1年近く経ち、法人の一体感が少しずつ出来上がって来ました。しかし、複雑に絡み合った課題は、少しの変化では解決できないとわかりました。原稿の組織体制での限界も見えてきました。今号では海士町の未来に向けて、私たちが取り組んでいることをお伝えします。



住民と向き合い、仲間と向き合う

新年あけましておめでとうございます。昨年は多くのお力添えをいただき、誠にありがとうございました。
1月1日に発生した能登半島での震災において、お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りし、被災されました方々に心よりお見舞い申し上げます。社会福祉協議会としてボランティアセンターや共同基金会と協働し、全力で支援して参ります。
さて、海士町社会福祉協議会は昨年4月1日に新たな法人として誕生し、10ヶ月が過ぎました。人間でいうと、つかまり立ちができるようになった頃です。しっかり歩けるように皆様のご支援、ご指導がまだまだ必要です。今後ともよろしくお願いたします。

海士町社会福祉協議会 会長 杵築 泰久



海士の福祉 みらい会議

「集合！」団長による号令のもと、事業所の次世代リーダーが円陣を組む。全体会スタートのルーティーン。これは、「自分たちから一つのチームになっている姿」を見せるパフォーマンス。しかし他の職員は、「何をやっているのだ？」とよくわからない雰囲気困惑モード。その状態は、合併当時の法人本体に似ている。法人合併前の令和3年に発足した「海士の福祉みらい会議」は、全国の社会福祉協議会で人材育成に関わっている、(株)エイデル研究所の熊谷耕氏をコンサルに迎え、海士町の福祉

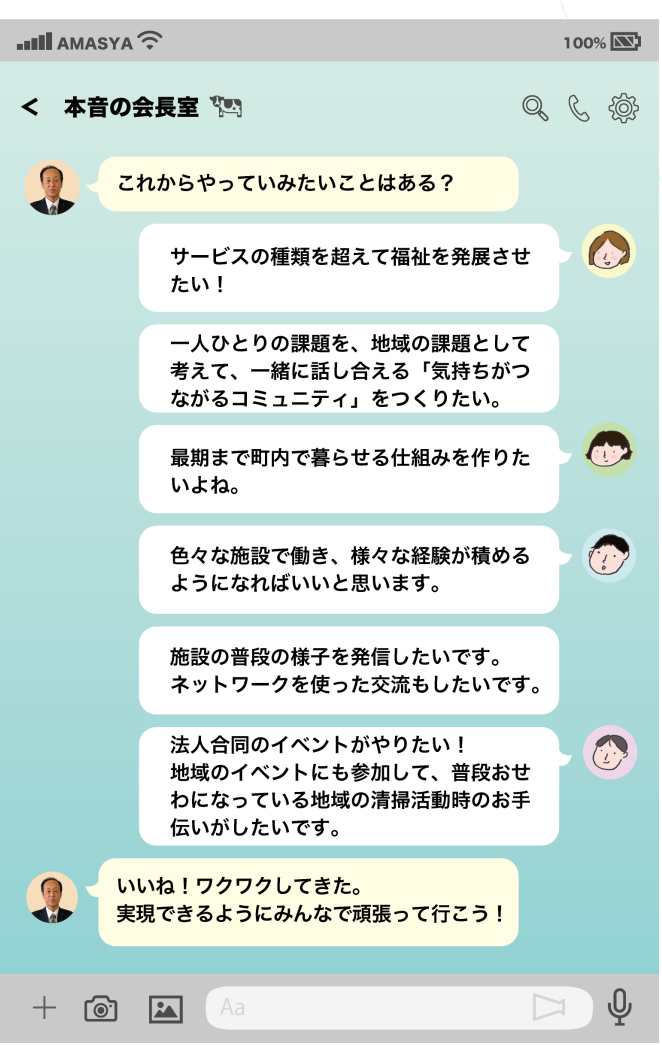
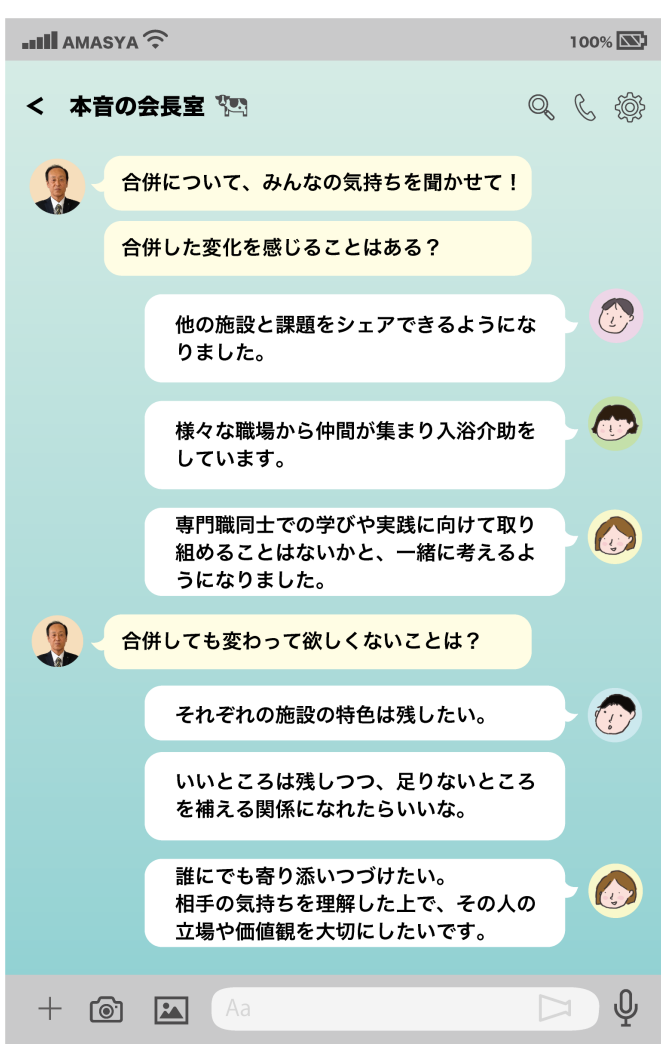
(法人)の未来について協議しながら、次世代リーダーたちのスキルアップを目指している。
「海士の福祉みらい会議が無かったら、法人合併はできなかった」(杵築会長)と、経営陣からの期待も大きい。
ユーモアと勢い、そして真面目さを兼ね備えた「海士の福祉みらい会議」が、これからの時代をけん引する。はじめは困惑していた団長の号令も、今では全体会の楽しみになっている。

集合！



本音の会長室

会長と職員たちの〇〇話



参加してくれた職員さん

- さくらの家 指導員 大野 英樹
- 福来の里 看護師 渡部 千代美
- 社協 ケアマネ 野田 真澄
- 諏訪苑 介護士 沖 一磨

令和5年 福祉人材 来島ツアー



(株)風と土・海士町役場・社会福祉協議会が協力し、海士町医療・福祉プロジェクトとして、福祉人材の来島ツアーを開催。令和5年は20名を超える参加者を迎え、海士町の暮らしの紹介、福祉施設の見学、職員との交流を行いました。採用試験、会長面接を終え、採用が決定した方も多数いらっしゃいます。新しい仲間、新しい風により、福祉サービスの充実を目指していきます。



海士町医療プロジェクト
公式note
https://note.com/ama_iryou

発信

ミナミデザインの南貴博さんに、ホームページと広報のデザインを考えてもらっています。南さんは元社協の理事で島根県の福祉魅力化にも関わってもらいました。今後は社協の情報発信チームの指導もお願いしています。今回の広報は、海士町役場 半官半Xの天正紗奈江さんにもご協力いただきました。今後はホームページをリニューアルし、3月に完成予定です。お楽しみに！

